

<b>科目名：</b> レクリエーション活動援助法（実技）2単位		<b>担当教員名：</b> 宮川 多加子	<b>使用テキスト：</b> 出版社名・テキスト名 楽しさをとおした心の元気づくり (公益財団法人 日本レクリエーション協会)
<b>授業の到達目標及びテーマ：</b> 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ、良好な集団づくりの方法・アイスブレイキングを習得し、さらにモデルプログラム・レクリエーション活動を習得する。そして理論科目で身に着けた根拠に基づきプログラムの実施と評価をし、改善していく。			
<b>授業の概要：</b> レクリエーション支援を技術、根拠の理論と関連付けて習得できるようにし、卒業後のレクリエーション支援の実施につなげる授業展開を行う。			
回	項 目	内 容	
1	レクリエーション支援の方法	オリエンテーション あたたかくもてなすとは	
2	〃	あたたかくもてなうという配慮 対象者の気持ちを受け止め伝える技術 対象者との意思疎通を促進する技術	
3	〃	集団がまとまる仕組みを活かすプログラム	
4	〃	アイスブレイキングモデル	
5	〃	アイスブレイキングの効果を高める支援技術	
6	〃	1つの活動の中で複数回の成功体験を楽しむための目標設定の方法 段階的に成功体験しやすくするアレンジの基本と応用	
7	〃	対象者の相互作用を促進するコミュニケーション技術の活用方法（css プロセス）	
8	〃	目標設定と言葉や表情の活用方法の一体的な実施	
9	レクリエーション活動の習得	レクリエーション支援のためのゲーム	
10	〃	〃	
11	〃	〃	
12	〃	レクリエーション支援のための、手遊びや歌	
13	〃	〃	
14	〃	レクリエーション支援のための音楽に合わせた身体活動	
15	〃	〃	
<b>参考書・参考資料等：</b> 必要に応じて適宜指示または配布			
<b>学生に対する評価方法：</b> 提出物（30点）実技（50点）授業での取り組む姿勢や態度の評価（20点）			
出席率等を評価と関連付けた表記はなさないでください。（文科省）			
<実務経験のある先生の記入例> ※別紙「実務経験のある教員等による授業科目の一覧表」の先生に記載をお願いします。 東奥保子 元幼稚園長			